

超高齢過疎地域における持続可能な移動サービス「コミタク」の実証運行

応募様式A

豊後大野市清川・千歳地域共創プラットフォーム

事業の基礎情報

実施主体	豊後大野市
事業実施地域	豊後大野市清川地域、千歳地域
共創の類型	他分野共創
他分野共創の類型	医療・介護・福祉
共創パートナー	豊後大野市、清川町支え合いのまちづくり仕掛け人会、社会福祉協議会、豊後大野市タクシー協会、大分大学
運行形態	市町村自家用有償旅客運送を活用した、市民と交通事業者が連携した事業者協力型輸送（区域運行）
運行主体	豊後大野市タクシー協会

取組の概要

（現状の地域課題と事業目的）

地域課題 ①コミバス、あいのりタクシーの利用減少 ②交通事業者の運転士不足 ③清川診療所の廃止 ④DXへの対応が不十分

⑤移動に関するニーズの明確化と課題整理（福祉＝無料の移動サービス⇔事業＝有料の公共交通）

事業目的 ①交通体系の見直しによる公共交通の利用促進・維持 ②交通事業者の運転士確保 ③通院の移動手段の確保 ④予約システム等による効率的運用

⑤移動に関する意識調査と社会実験、移動サービスの持続性確保

（事業の概要）

①どのような属性の主体と連携・協働：地域と交通事業者の連携（運転士確保、利用促進）、福祉分野との連携（すみ分け、公共交通への転換）、大学との連携（継続）

②どのような手法：予約・配車システム等を活用した効率的な予約型乗合タクシーの実証運行

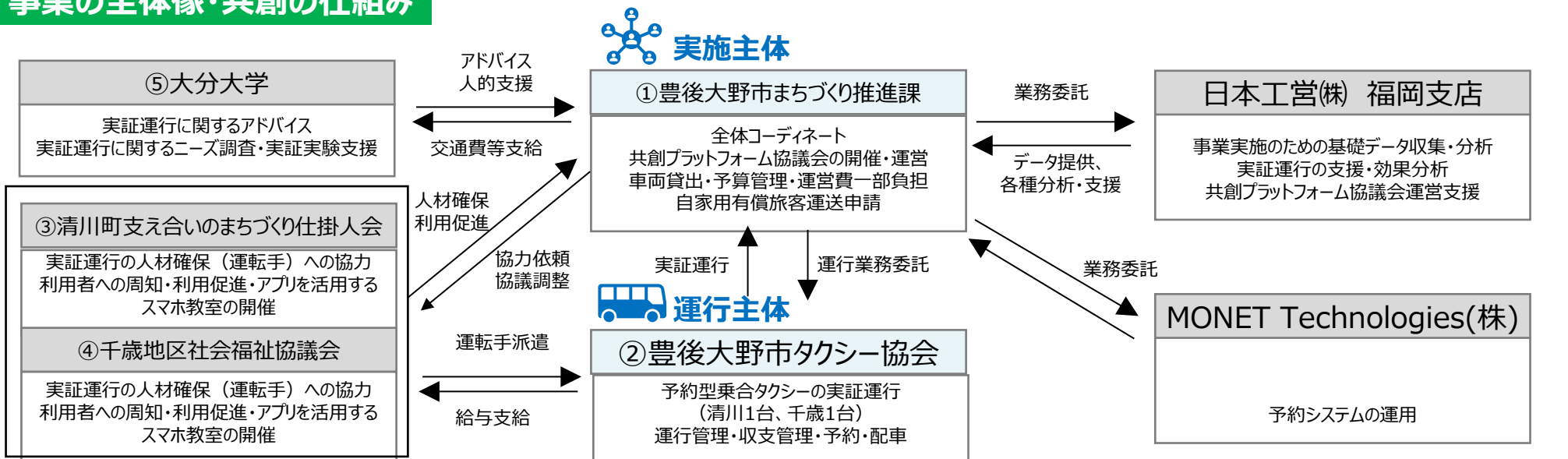
③どのような内容：自家用有償旅客運送によるコミュニティバス（定時定路線）から予約型乗合タクシー（区域運行）への移行における、事業者協力型輸送実現のため調整と収支配分の分析（収入＝自治体負担・利用者負担、支出＝交通事業者・地域・システム等）を行う。タクシー事業者（公共交通）の運転者不足解決のため、今まで無償で個別に行っていた福祉送迎を含めた移動サービスを地域全体で検討し、移動を担う人員を効率的・効果的に配置することで、福祉人材の公共交通への活用が見込まれることや、福祉分野としても福祉送迎に割いていた人材の本業専念が見込まれ、より高齢化社会に対応した社会基盤の構築が中長期的には期待できる。

超高齢過疎地域における持続可能な移動サービス「コミタク」の実証運行

応募様式A

豊後大野市清川・千歳地域共創プラットフォーム

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

- ① 豊後大野市：全体コーディネート、共創プラットフォーム協議会の開催・運営、車両貸出・予算管理・運営費一部負担、自家用有償旅客運送申請
- ② 豊後大野市タクシー協会：予約型乗合タクシーの実証運行（清川1台、千歳1台）、運行管理・収支管理・予約・配車
- ③ 清川町支え合いのまちづくり仕掛人会：実証運行の人材確保への協力、利用者への周知、利用促進・アプリを活用するスマホ教室の開催
- ④ 社会福祉協議会：実証運行の人材確保への協力、ニーズ調査（千歳）、利用者への周知・利用促進・アプリを活用するスマホ教室の開催
- ⑤ 大分大学：実証運行に関するアドバイス、ニーズ調査

〔委託事業者（共創パートナー外）〕

日本工営(株)：事業実施のための基礎データ収集・分析、実証運行の支援・効果分析、運営支援、MONET Technologies(株) 予約システムの運用

(実証事業により見込まれる効果)

○交通分野：持続的な公共交通の実現、豊後大野市内他地域等への横展開、運転士不足の解消

利用実態及び超高齢化社会に対応した運行形態の見直し、車両のダウンサイジング

○医療・福祉分野：通院における移動手段の確保、福祉的移動から公共交通への転換の促進（健康増進、医療福祉予算の削減）

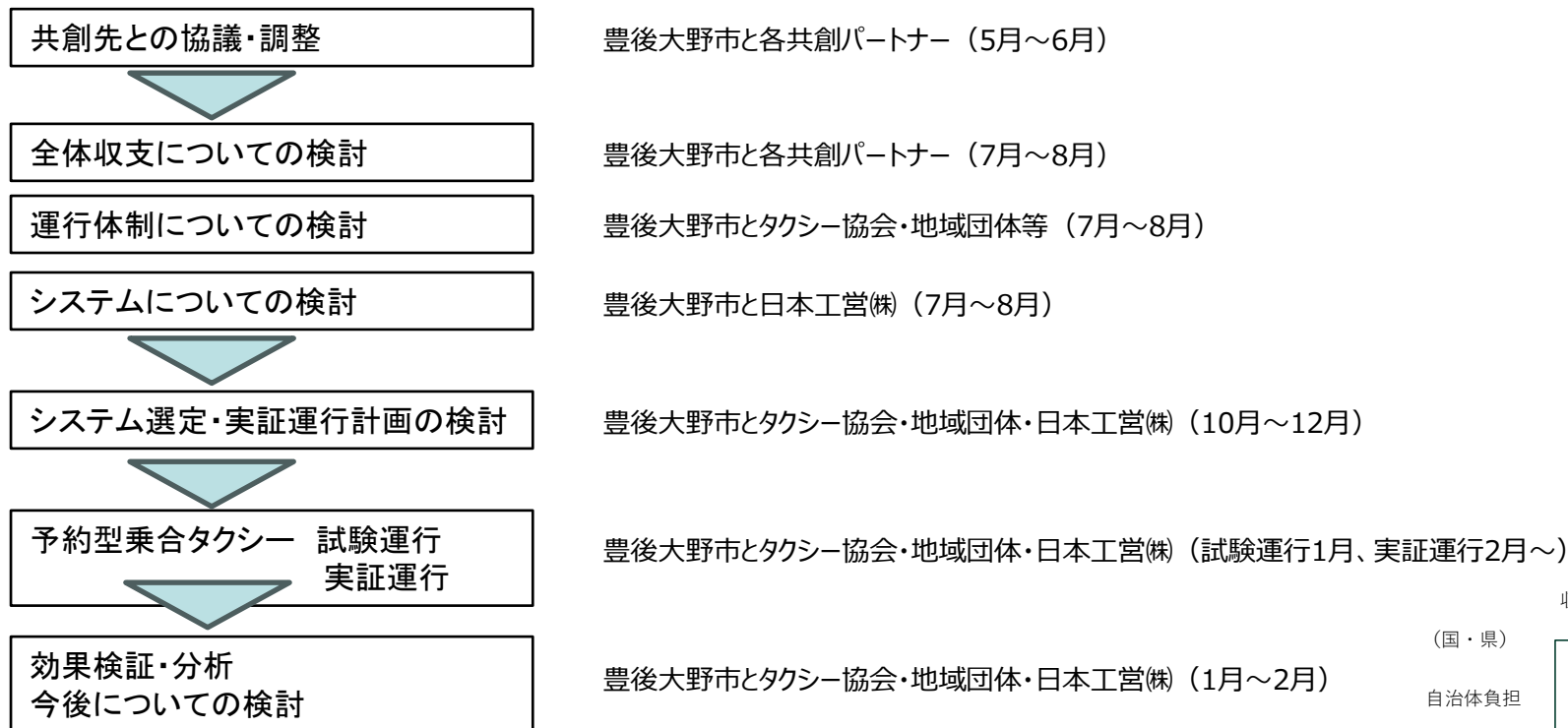
超高齢過疎地域における持続可能な移動サービス「コミタク」の実証運行

応募様式A

豊後大野市清川・千歳地域共創プラットフォーム

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)



(補助事業実施後の予定)

R6：共創モデル実証運行事業

R7：市単独事業（既存公共交通網の再編）と運行エリア拡大に向けた検討

※移動サービス事業を維持するための仕組みづくり（賃金の最低保証、朝夕スクール運行以外の日中の輸送に関わる仕事づくり等）

※「地域公共交通を考える会」（仮）主催のシンポジウムの開催（人材育成、意識改革など）

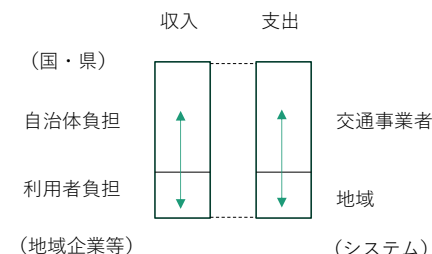


図 収支モデルのバランスの検討